釧路湿原川レンジャーNews

2014　Vol.3

第2回「釧路湿原川レンジャー学習会」が開催されました

平成２６年８月４日(月)に、２０名が参加して「第２回釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました。

今回は、しべちゃ水辺の楽校での「釧路川の水質・水生生物調査」と標茶町茅沼での「茅沼地区旧川復元現場見学」を行いました。

位置図

水質・水生生物調査について

北海道開発局では、毎年、北海道の主な河川で地域住民の方々と一緒に川の水質状況を調査しており、平成１７年から釧路湿原川レンジャーも参加しています。この調査は、川の水質を参加者に直接確認して頂き、川に対する関心を高めて頂くことを目的としています。なお、今年も昨年に引き続き、標茶町立標茶小学校の児童６名と協働で調査を行いました。

しべちゃ水辺の楽校にて調査

調査の前に川の安全講習を行い、ライフジャケットの正しい着用方法の実演や重要性、増水時・降雨時の川の怖さなどを説明して頂きました。

作業は、小学生も含めた参加者が正しくライフジャケットを着用して６班に分かれて行いました。調査は、気温・水温・川底の感触・流速・透視度などの「川の状態観察」、簡易水質試験用具を使った「簡易水質調査」、川底の石やトラップ（設置した上流で川底を足でかき混ぜ、白い布に捕獲）に付着した生物を採取する「川の水生生物調査」などを行いました。

正しいﾗｲﾌｼﾞｬｹｯﾄ着用の実演

ピンポン球での流速調査

透視度計での透視度調査

●調査結果

調査終了後に行った、各班からの結果報告を表－１，２にまとめました。今回の結果をＡ～Ｄの４段階で評価すると、『人と河川の豊かなふれあいの確保』は昨年までＢランクでしたが、今年は全ての項目がＡランクで、「遊びやすさ」の観点としてＡランクとなりました。また、『豊かな生態系の確保』も全ての項目がＡランクで、「生き物の住みやすさ」の観点としてＡランクとなり、川の環境としては非常に良好であることがわかりました。

なお、参加者からは次のような感想がありました。

○標茶小学校の生徒の参加が大変良かった。弟子屈・標茶の町民は、釧路川について関心を持ってもらいたい。

○お子さんを中心に楽しく参加できました。とても積極的で、湿原の未来を見守っていって下さることでしょう。

石に付いた水生生物を調査

調査中に捕獲した
ｳﾁﾀﾞｻﾞﾘｶﾞﾆ

班ごとに結果発表

参加者全員で記念撮影

表－１　人と河川の豊かなふれあいの確保(遊びやすさ)の調査結果

ランク	ゴミの量	透視度(cm)	川底の感触	水のにおい	糞便性大腸菌群数(個/100mL)
A	川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	快適である(素足で入りたいと感じる)	不快でない	100以下
B	川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	不快感がない(履物があれば入りたいと感じる)		1000以下
C	川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	不快である(履物をはいても入りたくない)	水に鼻を近づけると不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の中や水際にゴミがあってとても不快である	30未満		水に鼻を近づけるととても不快な臭いを感じる	

表－２　豊かな生態系の確保(生き物の住みやすさ)の調査結果

ランク	説明	DO (mg/L)	NH_4 -N (mg/L)	水生生物の生息
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	Ⅰ.きれいな水 ・ヒラタカゲロウ ・カワゲラ　等
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上7未満	0.5以下	Ⅱ.ややきれいな水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ 等
C	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好とは言えない	3以上5未満	2.0以下	Ⅲ.きたない水 ・ミズムシ ・タニシ　等
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	Ⅳ.とてもきたない水 ・ユスリカ ・チョウバエ　等

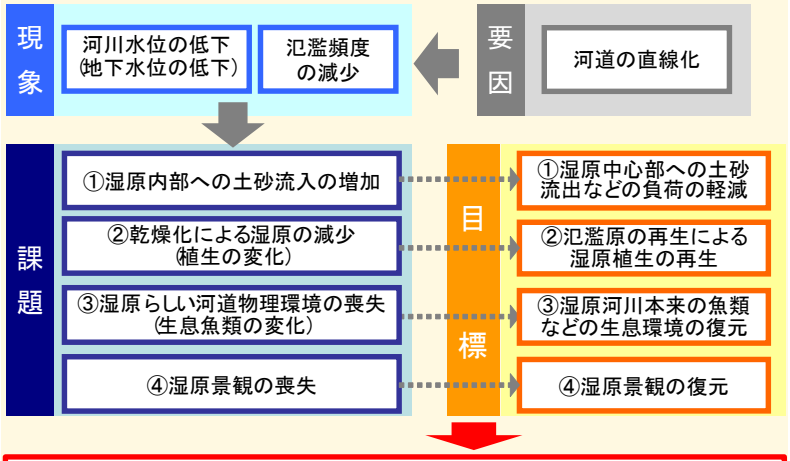
「茅沼地区旧川復元現場見学」

午後からは、標茶町茅沼の旧川復元現場に移動し、旧川復元の概要やその後の効果などについての説明を聞き、工事が完了して３年が経過した現場を見学しました。

●茅沼地区旧川復元について

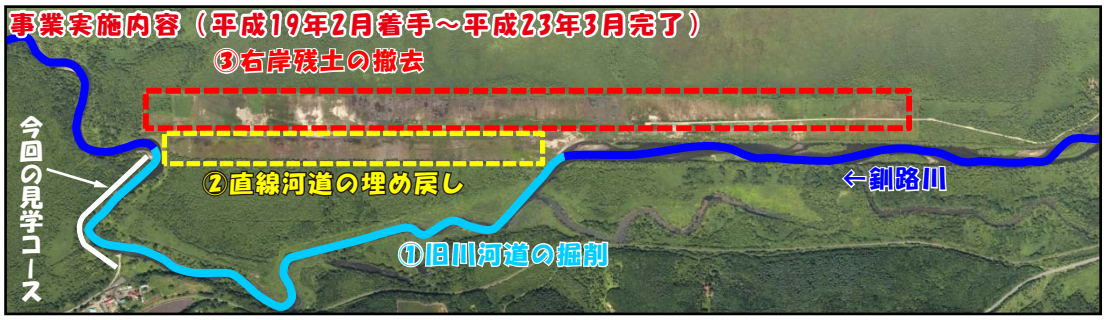
地域の開発と発展要請と相まって、釧路川茅沼地区においても1970～80年代に**※注河道が直線化**されて旧川周辺は乾燥化し、牧草地として土地利用されてきました。この工事によって、茅沼地区は直線化に伴う河川水位や地下水位の低下、氾濫頻度の減少が生じました。

そこで、茅沼地区では右図の課題と事業の目標を設定し、工事後にその効果をモニタリングしています。



目標の達成により
湿原の①質的（湿原植生）変化、②量的（湿原面積）変化を緩和することができます。

※注河道直線化の目的
- 河川水位の低下による洪水被害の減少
- 地下水位の低下による土地利用可能面積の拡大



●モニタリング調査結果

工事後に実施した調査結果を下表にまとめました。４つの目標ごとに効果が現れてきており、今後も継続して調査する予定です。

現地を見学

ﾍﾄﾞﾛが溜まった旧川部を掘削

冠水状況（H25年4月）

モニタリング調査結果一覧

期待される効果	旧川復元前	復元後（H23調査）	その後
①湿原中心部への負荷の軽減	冠水頻度：0回/年（H21調査）	1回の出水で上流部よりも約85%の土砂流出が軽減（冠水頻度：18回/年）	H25には土砂トラップを設置し、広範囲で土砂の捕捉を確認
②湿原植生の再生	約40ha（湿原植生）	約70ha（湿原植生）	約140haの湿原植生の回復効果を期待
③魚類などの生息環境の復元	201個体（7種類）（H11調査）	503個体（15種類）（魚類が増加し、多様な生息環境が復元）	H26年度調査中
④湿原景観の復元	流れの無い止水環境	河川が蛇行し、湿原河川本来の河川景観になりつつある	H25には湿原河川本来の河川景観に類似（カヌーや釣りなどに利用されている）

観察活動の報告

釧路湿原川レンジャーの皆さんから寄せられた観察報告を紹介します。今回も動植物や不法投棄、油流出など様々な報告がありました。**今後も皆さんからの報告をお待ちしております。**

紀国氏提供
タイヤの不法投棄（仁々志別川）

梅本氏提供
二輪車のタイヤ跡（岩保木）

観察活動で報告された内容とその対応（６月～８月）

報告日	報告内容	対応
H26.6.3	タイヤの不法投棄	管理者である北海道に連絡
H26.6.3	動物報告：トビのヒナ	貴重な環境情報として取り扱う
H26.6.8	動物報告：トビの幼鳥	貴重な環境情報として取り扱う
H26.6.8	仁々志別川に油流出	発見者が消防に連絡
H26.6.13	仁々志別川に汚水流出	北海道に連絡、河川事務所でも確認
H26.6.28	堤防法面に二輪車跡	釧路河川事務所で経過観察
H26.6.19,28	動植物報告：足跡	貴重な環境情報として取り扱う
H26.7.4	動物報告：ミンク、トビ	貴重な環境情報として取り扱う
H26.7.4	昭和樋門水路での草の繁茂	必要に応じて撤去予定
H26.7.29	仁々志別川に車転落	油流出はなく、貴重な記録として取り扱う
H26.7.30	植物報告：ハンノキ林の異常	貴重な環境情報として取り扱う
H26.8.15	ゴミの不法投棄回収・処理	貴重な情報として取り扱う
H26.8.21	公園の整備	管理者である釧路市に連絡
H26.8.26	土地境界の石標が多数突出	釧路市に連絡

国土交通省
あしたを創る　北の知恵
北海道開発局
釧路開発建設部治水課
〒085-8551 釧路市幸町10丁目３番地
釧路湿原川レンジャー事務局
0120－8946－42（やっぱりくしろしつげん）
http//www.ks.hkd.mlit.go.jp/